

第1編 自然・原始・古代

はじめに

第1章 三股町の位置と自然地理的環境

- 第1節 三股町の位置
- 第2節 三股町の地質
- 第3節 三股町の地形環境
- 第4節 気候
- 第5節 人口

第2章 先史時代の人々の暮らし

第1節 先史時代の様子を明らかにするための方法

考古学の方法 / 放射性炭素年代測定法

第2節 狩猟採集社会の生活

1 旧石器時代の人々の暮らし

人類の始まりと進化 / 日本列島の初期人類と旧石器文化 /
都城盆地の旧石器時代

2 縄文時代の人々の暮らし

縄文時代とは / 王子山遺跡の草創期の集落跡 /
長原の丘の丸ノミ状石斧 / 早期の遺構と土器 /
繰り返された火山災害 /
細井地区遺跡群の集落変遷と生活の様相 / 縄文時代の食料

第3節 稲作の始まりと農耕社会の生活

1 弥生時代の人々の暮らし

弥生時代とは / イネの来た道 / 金属器の出現 /
都城盆地における稲作農耕の始まりと展開 /
都城盆地の弥生時代の集落様相 / 都城盆地における鉄器の出現 /
都城盆地における弥生時代の墓制

2 古墳時代の社会と人々の暮らし

古墳時代とは / 前方後円墳 / 古墳の副葬品 /
都城盆地の古墳 / 地下式横穴墓 /
都城盆地における古墳時代の集落の様相 / 生業と暮らし /
都城盆地の特質

第3章 奈良・平安時代

第1節 ヤマト王権の南九州進出と諸県君・髪長媛

1 記紀神話に現れる南九州在地勢力

『古事記』と『日本書紀』の成り立ち /
国生み神話に現れる日向 / 隼人阿多君の祖の服属説話 /
征西説話と熊襲の登場 /
『古事記』や『日本書紀』の編さん目的

2 諸県君と髪長媛伝説

諸県君の服属説話 / 天皇の妃となった日向の媛

第2節 律令制形成と水俣駅

1 在地勢力の朝貢と隼人の反乱

隼人の朝貢 / 朝貢にみる歌舞の披露 / 当時の国内外の情勢 /
朝貢の持つ意味 / 朝貢の内容 /
律令制度に編入される南九州 / 大宝律令の成立と南九州支配 /
隼人の反乱と薩摩国・大隅国の成立 / 隼人教導政策 /
養老四年の隼人反乱 / 戦後処理と朝貢の強化 /
隼人の反乱を招いた原因

2 官道と駅の整備

整備された道の必要性 / 日向国に置かれた駅 /
官道を通る人・物資 / 日向国の財政状況 / 日向国の産物

第3節 島津荘の成立と三俣院

1 島津荘の成立と拡大

受領の登場 / 大宰府官による富の集積 /
島津荘の成立と拡大の様子 / 貴族の心を掴んだ島津荘の産物

2 大宰大監平季基の進出

平季基、大隅国への進出を試みる /
平季基のライバル、藤原義孝 / 南九州をめぐる諸勢力の争い

3 萩原氏と平季基

平季基と在地勢力の結びつき /
三俣院に勢力を広げる平季基の子孫たち